

(一般屋内用)

保管用

#### 【L1200タイプ】

光色	単体用	連結中用	連結右用	連結左用
昼白色【5000K】	FYY(FYYH)76250	FYY(FYYH)76251	FYY(FYYH)76252	FYY(FYYH)76253
白色【4000K】	FYY(FYYH)76240	FYY(FYYH)76241	FYY(FYYH)76242	FYY(FYYH)76243
温白色【3500K】	FYY(FYYH)76200	FYY(FYYH)76201	FYY(FYYH)76202	FYY(FYYH)76203
電球色【3000K】	FYY(FYYH)76230	FYY(FYYH)76231	FYY(FYYH)76232	FYY(FYYH)76233

#### 【L600タイプ】

光色	連結右用	連結左用
昼白色【5000K】	FYY(FYYH)75252	FYY(FYYH)75253
白色【4000K】	FYY(FYYH)75242	FYY(FYYH)75243
温白色【3500K】	FYY(FYYH)75202	FYY(FYYH)75203
電球色【3000K】	FYY(FYYH)75232	FYY(FYYH)75233

- ・上記( )内は加工品番です。  
(以降、加工品番の記載を省略します。)
- ・連結右用、左用はコーニス照明での設置を前提とした表記です。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

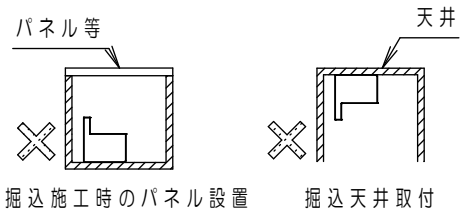
### 施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

## 安全に関するご注意

### 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に施工を行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用すること。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 水平天井、壁面(縦・横向き)、据置取付専用です。掘込天井には施工しないでください。また、掘込施工時にはパネルなどを被せないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(LEDユニット部)を長時間直視しないでください。眼に障害を及ぼすおそれがあります。



### 注意

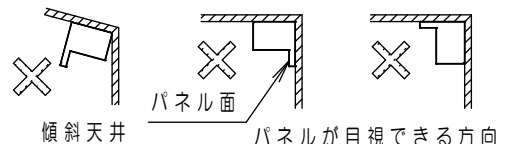
- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以内で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。(一部の食品や薬品、紙類などには硫黄成分が含まれます。また、車の排気ガスにも硫黄成分が含まれます。)光学性能に影響を与える場合があります。
- パネルに衝撃を与えたり、無理な力を加えないでください。パネル破損による落下の原因となります。
- パネルやエンドキャップはキズ・汚れが付きやすいため、取扱いにご注意ください。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。
- 壁面縦取付や据置取付などは、安全のため人が容易に触れない場所に施工してください。器具接触によるけがの原因となります。

### 施工上のご注意

- ・スイッチを接地側に取り付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)
- ・入力電圧が242Vの場合、消灯直後、数回間欠点灯する場合がありますのでスイッチは必ず非接地側に取り付けてください。
- ・当社製フル2線式リモコンT/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。詳細については、該当T/U付6Aリレーのカタログ・商品仕様書を参照してください。
- ・起動方式"LA"の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約10~100%に変化させることができます。適合コントロールは当社製品を使用してください。詳細は起動方式の説明書(LA-KG)をご覧ください。注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・傾斜天井やパネルが目視できるような取り付けはしないでください。器具本来の品質や性能を発揮できない原因になります。

#### ■結線について

- ・コントロールの結線は、コントロールの説明書をご確認ください。
- ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
- ・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。



取説No. FYY76200-T4

# 各部のなまえと取付方法

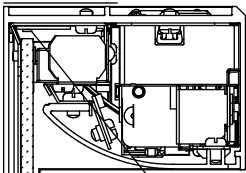
## 警告

- カバーの取り付け・取り外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。  
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- カバーの落下防止ひもは外さない。  
落下の原因となります。

## 注意

パネルやエンドキャップはキズ・汚れが付きやすいため取扱いにご注意ください。

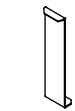
### 器具断面図



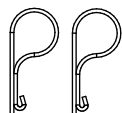
- LED
- パネル
- LEDユニット

### ＜同梱部品＞

梱包時は本体底面に貼り付けています。

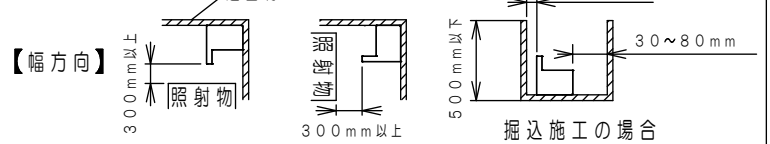


引下げ金具  
(単体用・連結右用のみ同梱)



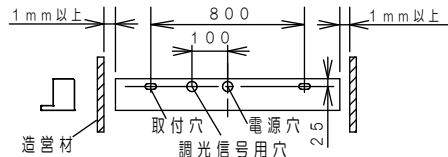
スペーサー 2個  
(連結中用・右用のみ同梱)

### ＜必要寸法条件＞

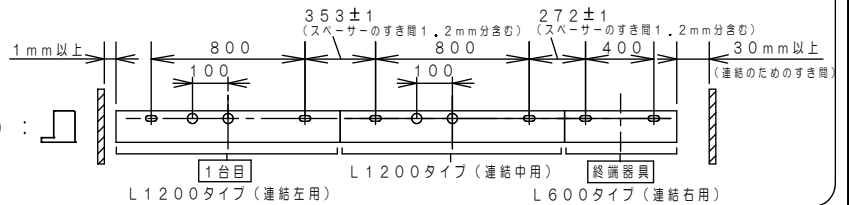


### 【長手方向】

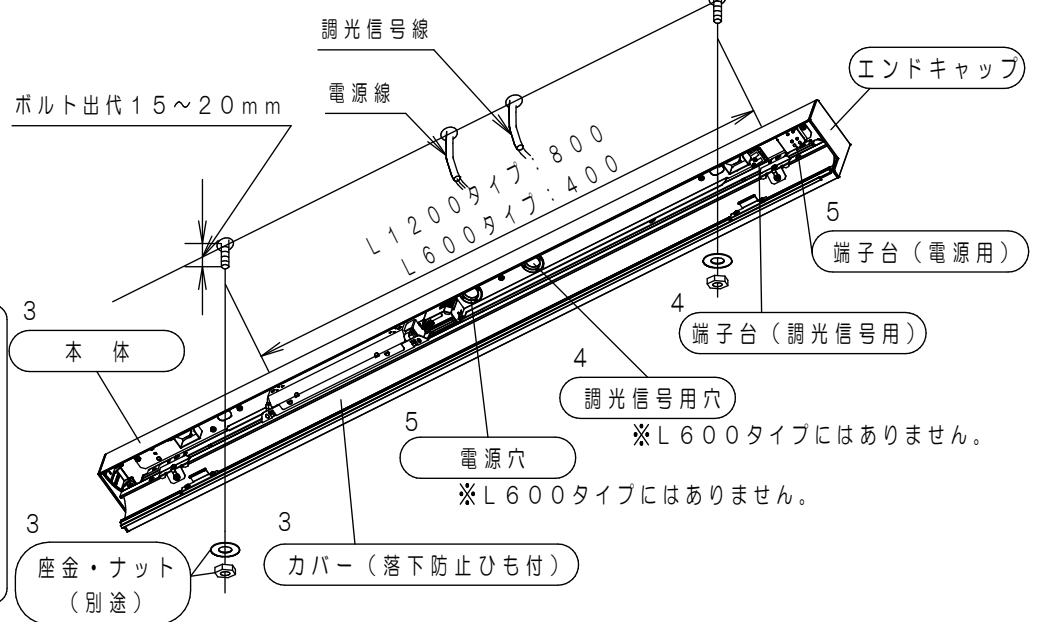
単体用の場合：



連結用の場合(例)：



L1200タイプ：FYY76200LA9の例で説明しています

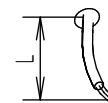


### 1 取付前の確認

- ・器具質量(L1200:3.9kg、L600:2.1kg)に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。  
取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。  
不備があると器具落下の原因となります。

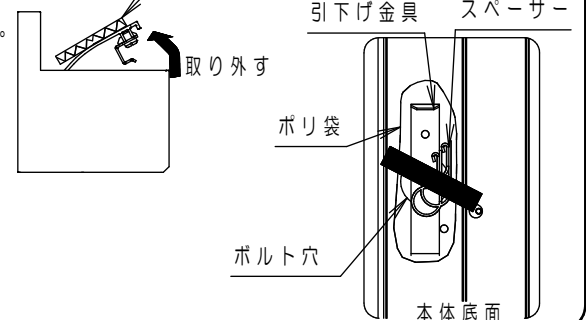
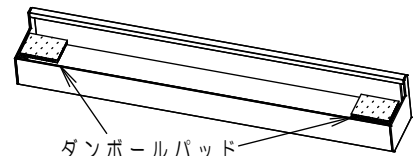
### 2 電源線・調光信号線の引き込み代

- ・器具施工前に下記の寸法で電源線・調光信号線を施工面から引き出し、戻せる状態にしておくこと。  
結線の作業性の面から電源線・アース線については、 $\phi 1.6$ 電線のご準備をおすすめします。  
電源線：L600mm以上( $\phi 1.6$ 電線を推奨)  
調光信号線：L550mm以上



### 3 本体の取付

- ・カバーにテープ止めしているダンボールパッド2枚は施工時のカバー傷つき防止のため、  
本体取付・電線接続が完了するまで外さないでください。
- ・本体底面から同梱部品のポリ袋を取り外す。  
(連結左用器具は同梱部品なし)
- ・カバーを取り外す。4ページの「＜カバーの取付方(取外し方)＞」を参照してください。
- ・電源線・アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- ・調光信号線を本体の調光信号用穴から引き込んでおく。
- ・本体を取付ボルトに確実に取り付ける。外径 $\phi 30$ 以下の平座金を使用する。  
(推奨トルク：1.5N・m)  
(締め過ぎると器具、天井材が変形、破損する場合があります)
- ・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。  
不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
- ・パネルに衝撃を与えたり、無理な力をかけない。  
パネル破損による落下およびキズの原因となります。



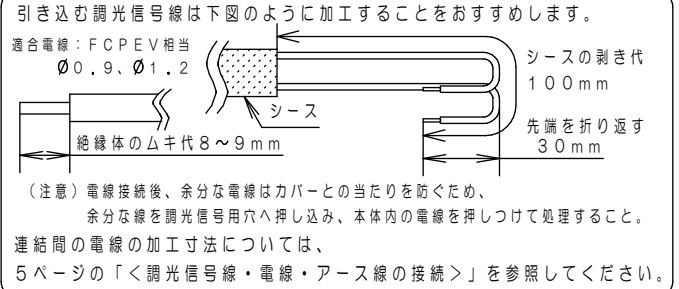
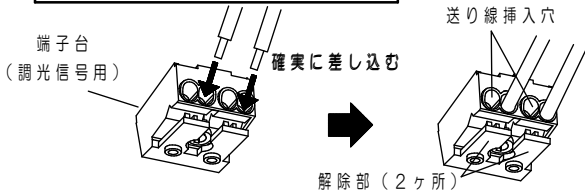
## 各部のなまえと取付方法

### 4 調光信号線の接続

下図のように端子台（調光信号用）に接続する。

- ・調光信号線を確実に差し込む。
  - ・調光信号線に極性はありません。
- 接続が不完全な場合、正常に調光できなくなります。

L1200、L600タイプ共通



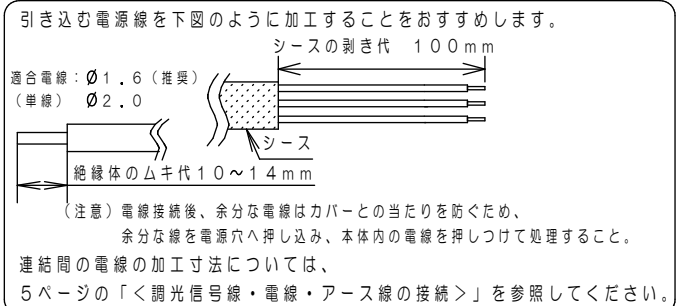
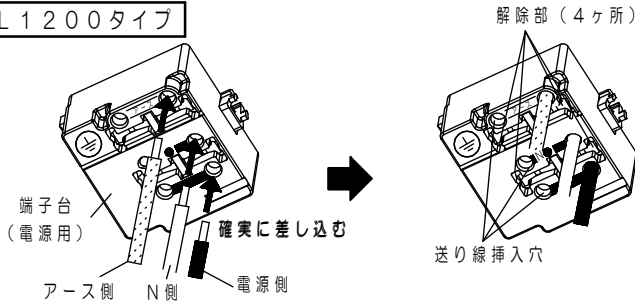
#### 調光信号線の外し方

解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

### 5 電源線・アース線の接続

- ・下図のように電源線、アース線を確実に差し込む。
  - ・D種（第3種）接地工事が必要。
  - ・送り配線をする場合は7A以下で使用してください。
- 過熱による火災の原因となります。

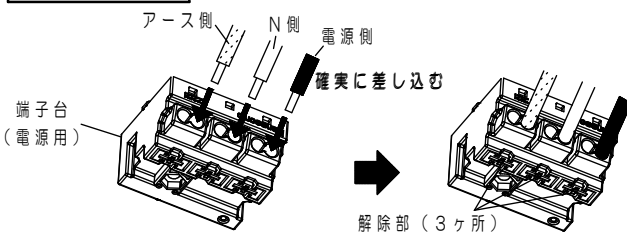
L1200タイプ



L600タイプは終端専用器具です。

連結間の電線の加工寸法については、5ページの「<調光信号線・電線・アース線の接続>」を参照してください。

L600タイプ




#### 電源線の外し方

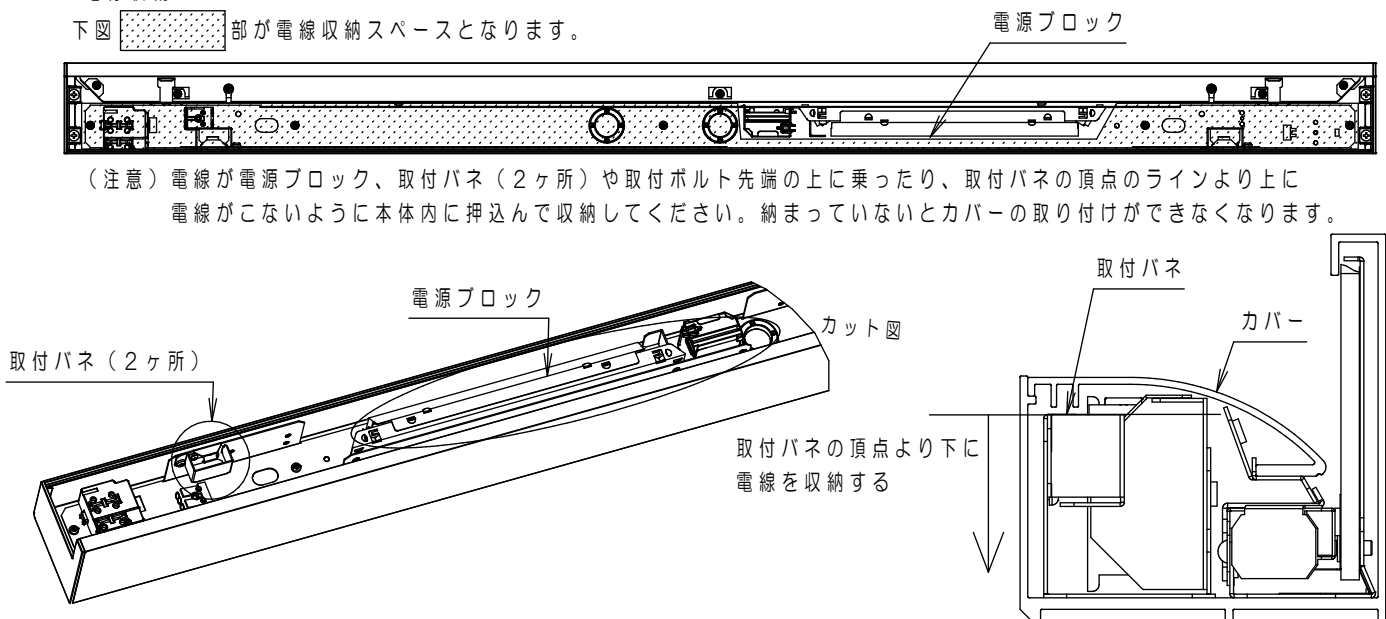
マイナスドライバーなどで解除部を押しながら電源線を引き抜く

### 6 接続電線を整える

- ・接続した電源線、アース線、調光信号線を器具内の収納スペースに押し込み、余分な電線は天井裏に押し戻す。

<電線収納スペース>

下図  部が電線収納スペースとなります。



(注意) 電線が電源ブロック、取付パネ（2ヶ所）や取付ボルト先端の上に乗ったり、取付パネの頂点のラインより上に電線がこないように本体内に押し込んで収納してください。納まっていないとカバーの取り付けができなくなります。

### 7 ダンボールパットの取り外し

- ・カバーにテープ止めしているダンボールパット2枚を取り外す。

### 8 カバーの取付

- ・4ページ「<カバーの取付方（取外し方）>」を参照してください。不備があると、カバーが外れる原因となります。

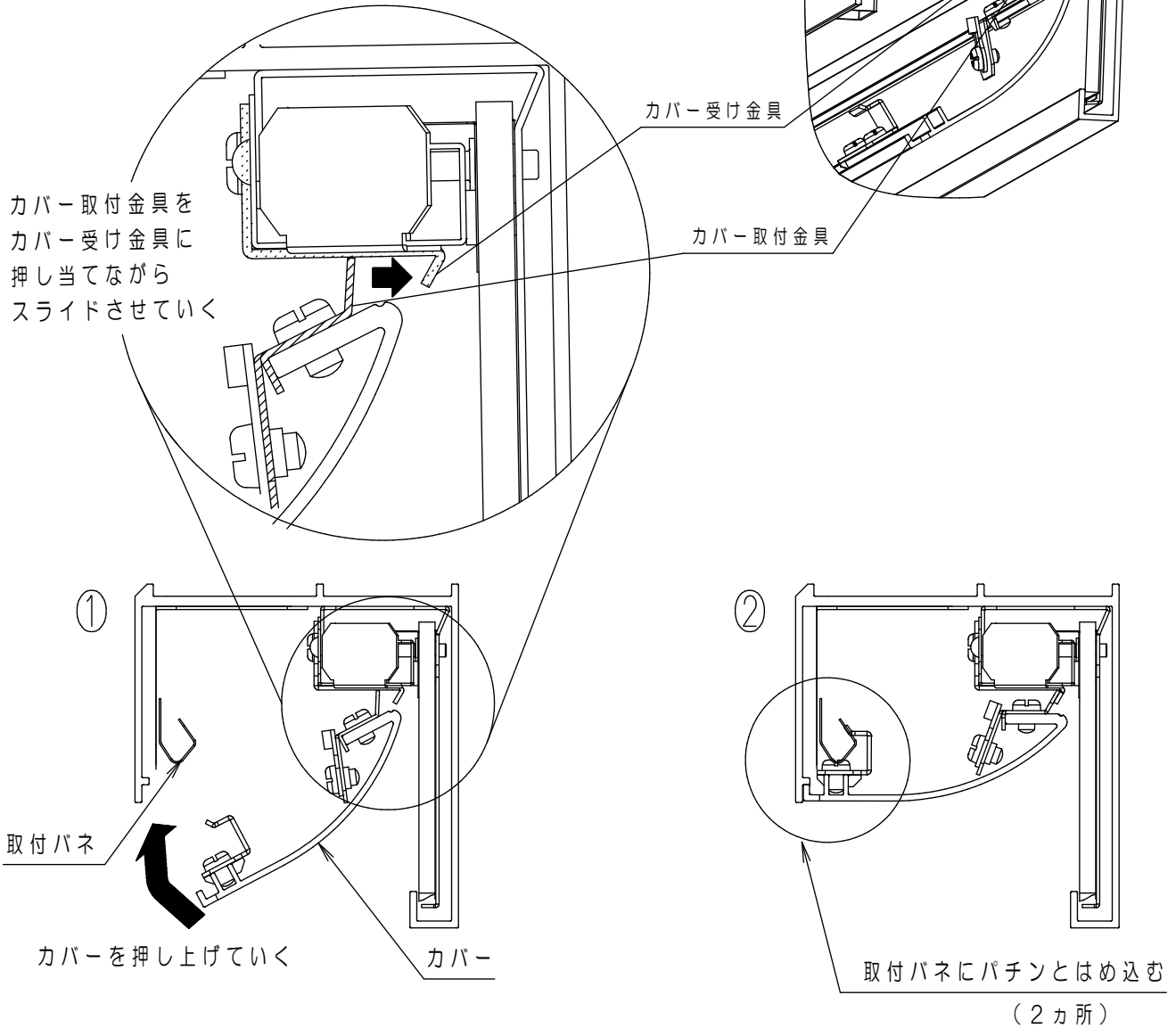


## 各部のなまえと取付方法

<カバーの取付方（取外し方）> ※天井取付を基準として説明しています。

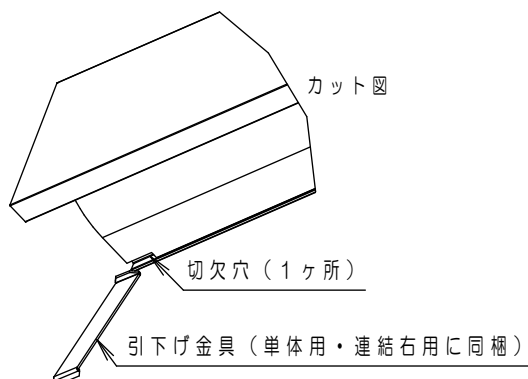
### カバーの取付方

- ①カバー取付金具をカバー受け金具に押し当てながらスライドさせ、バネ受け金具側を押し上げていく。
- ②バネ受け金具を取付パネに2ヶ所同時にはめ込む。  
注意）カバー受け金具の上にカバー取付金具が乗ってしまうとカバーに浮きが発生してしまいます。



### カバーの取外し方

- ①カバーの切欠穴（1ヶ所）に単体用・連結右用に同梱の引下げ金具を差込み、片手を添えながらカバーを引き下ろしてパネのかかりを解除する。（コンボックス等のL字の金具で取り外す事も可能です）
- ②カバーの引き下がった部分をさらに引き下げて、反対側のパネのかかりも解除する。



# 各部のなまえと取付方法

## < 連結の場合の本体取付方法 >

本体取付方法 (例として、1台目に施工する器具を連結右用として説明しています。)

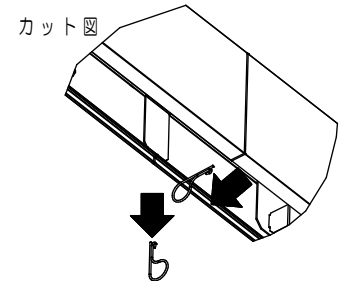
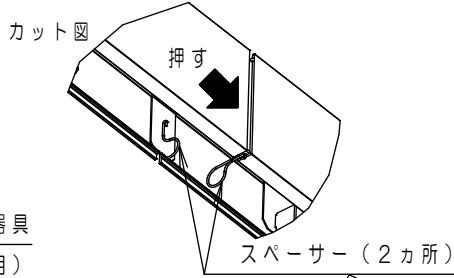
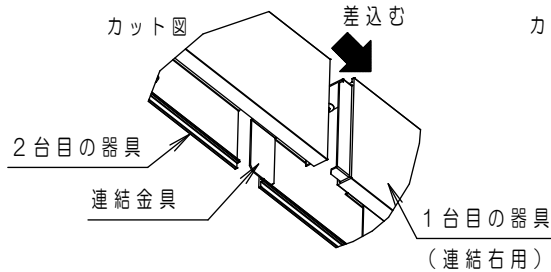
- ① 1台目の器具を取り付ける。
- ② 次に連結する器具を1台目の器具の連結金具に差込み、ボルトを締め切らずに仮止め状態にしておく。
- ③ 連結金具に同梱のスペーサーを下図のように2カ所装着する。(連結中用、右用に同梱)  
(点灯時における本体の熱膨張を吸収するため、スペーサーを用いて1.2mmのすき間を確保します。)
- ④ スペーサーを装着したまま1台目の器具に連結する器具を押し当てながら、仮止めしていたボルトを締め付ける(推奨トルク: 1.5 N・m)
- ⑤ スペーサーを取り外す。
- ⑥ 3台以上連結の場合は、②~⑤を繰り返す。

② 2台目の器具を仮止め状態にする

③ スペーサーを取り付ける(2カ所)

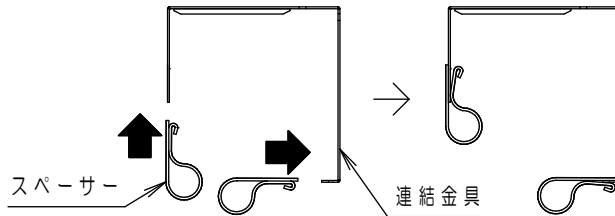
④ 1台目の器具に連結する器具を押し当てながらボルトを締め付ける

⑤ スペーサーを取り外す



### 【スペーサーの取り付け方】

連結金具に対して下図のような向きでスペーサーを取り付ける。



## < 調光信号線・電源線・アース線の接続 >

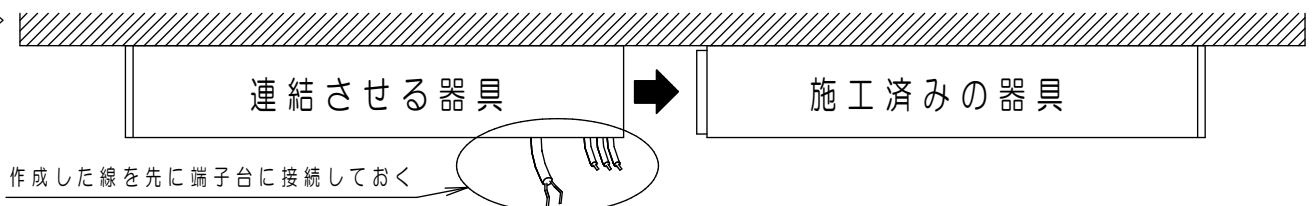
連結時の結線作業のポイント

- ・連結施工する際は下記のように線加工しておくこと連結の結線作業時に便利です。  
作業性の面から電源線・アース線については、 $\phi 1.6$ 電線でのご準備をおすすめします。
- ・連結中用の両端の端子台には送り方向の規制はありませんが、両方から電源入力しないように注意してください。  
ショートによる火災・器具破損の原因となります。

【連結パターン】	【電源線・アース線】 適合電線(単線): $\phi 1.6$ (推奨) $\phi 2.0$	【調光信号線】 適合電線: FCPEV相当 $\phi 0.9$ 、 $\phi 1.2$
L1200タイプ × L1200タイプ		
L1200タイプ × L600タイプ(右用)		
L600タイプ(左用) × L1200タイプ		

- ・結線作業は狭所での作業となるため、上記で作成した電線をあらかじめ連結させる器具の端子台に接続してから、本体をボルトで仮止めし、連結作業を行ってください。

< 例 >



ダンボールパッドの取り外し

- ・カバーにテープ止めしているダンボールパッド2枚を取り外す。

カバーの取り付け

- 4ページの「<カバーの取付方(取外し方)>」を参照してください。  
不備があるとカバーが外れる原因となります。

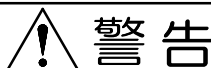


## 取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意



### 警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



### 注意

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。パネルは固く絞るか、乾いた布で清掃してください。水が器具内に入り込み、故障の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※1)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021HA)点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ LED照明器具の光源寿命(※2)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

## 使用上のご注意

- 光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(LEDユニット部)を長時間直視しないでください。眼に障害をあたえるおそれがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- LEDは交換できません。
- バーコードリーダーの機種によっては器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。この場合には、器具との距離を離すか、遮蔽するなどの対策を講じてください。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機などの誘導無線を使用する場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- 光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- 適合コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。低い調光域では段調光のように動作する場合があります。適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。

## 保証について

- ・保証について.....この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は当社カタログを参照してください。
- ・保証書について.....保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の.....当社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しております。保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

## お手入れ方法について

- ・器具の清掃について.....パネルは固く絞るか、乾いた布で清掃してください。水が器具内に入り込み、故障の原因となります。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・カバーの取付け、取外し.....4ページ「カバーの取付方(カバーの取外し方)」を参照してください。不備があるとカバーの落下の原因となります。



### 警告

● 感電のおそれあり。  
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。

■ 定格 <LA9方式>

L1200タイプ

定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
周波数	50/60Hz		
入力電流	0.31A	0.15A	0.13A
消費電力	30W	30W	30W

L600タイプ

定格電圧	AC100V	AC200V	AC242V
周波数	50/60Hz		
入力電流	0.16A	0.08A	0.07A
消費電力	16W	16W	16W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月~土/9:00~18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX) (Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays))